

# 荒川ころばん

# 体操のあゆみ

<凡例>青字：イベント、緑文字：メディア出演、◆印：体操会場関連

年月	荒川ころばん体操のあゆみ	社会の主な出来事など
H14 (2002)	荒川ころばん体操を東京都立大学と区民センター20名と区で共同開催	5月～6月 サッカーワールドカップが日韓共同開催 20人 折れ線グラフは、ころばん体操参加者の年間の延数(単位：人)
H15 (2003)	ころちゃん・ばんちゃんひのキョウウター誕生 東京都立大学の教室で体操開始、後に8会場で実施 リーダー養成講座開始(1～3期生)	9,139 約4倍に急増
H16 (2004)	3月 荒川せらばん体操の開発 体力測定開始 第1回荒川ころばん体操区民交流会開催(東京都立大学)	8月10月 新潟県中越地震 アネオオリンピック・パラリンピック開催 35,642
H17 (2005)	8月9月 都老研主催の介護予防体操戦日本東京に出演 初めて他自治体(茨城県水戸市)から招くのを受けて交流(ご当地体操交流のぞき祭り)	4月 ◆東日暮里ふれあい館開設 会場として使用開始 46,769
H18 (2006)	2月 茨城県牛久市と体操の交流(サンパル荒川ホール)	2月 ◆山吹ふれあい館開設 54,753
H19 (2007)	6月10月11月 花巻市へ体操交流に行く ころばん・せらばん体操を特許庁に商標登録 日本テレビ「ぐらり湯中車の旅」天王公園で体操発表 キャラバン隊の結成、のぼりとエントラーム作成	55,559
H20 (2008)	1月11月 ◆新創予防体操交流会荒川「広がり 体操の和・輪・環」(日暮里センターホール) 上尾市、富士見市、牛久市の体操発表 ちえあばん(ころばん体操の座席版)の開発 ご当地体操プロジェクト全国への旅で体操発表	4月8月 ◆西日暮里ふれあい館開設 会場として使用開始 ◆アクト21を会場として使用開始 54,850 北京オリンピック・パラリンピック開催 メタボ対策義務化始まる
H21 (2009)	1月11月 ◆新創予防体操交流会荒川「笑って、私も、若返り」(サンパル荒川ホール) 牛久市予防大会からの招いで交流会参加	4月 ◆山吹ふれあい館を会場として使用開始 59,645
H22 (2010)	1月2月 ◆新創予防体操交流会荒川「笑って健康長寿」(日暮里センターホール) 「新舞」全国ご当地体操でお国自慢・元気自慢に出演	4月 ◆南千住駅前ふれあい館開設 会場として使用開始 53,161
H23 (2011)	1月9月12月 小倉井市と交流会 NHK「JAXA(宇宙航空研究開発機構)で宇宙宇宙飛行士と交換イベント」出演(宇宙にいる川手宙飛行士が、地上のリーダー達と対話) TBS「Nスタ」出演(西日暮里ふれあい館で体操発表)	3月4月 ◆山吹ふれあい館開設、会場として使用開始 ◆西日本震災、被災地で体操を表演 52,571
H24 (2012)	10月 荒川ころばん体操10周年「記念式典」開催(サンパル荒川ホール) 10周年記念誌発行 10年リーダー活動をしている方への「感謝の会」開始、以降毎年開催	4月5月7月～8月 ◆尾久・町屋・南千住ふれあい館開設、会場として使用開始 ◆東京スカイツリー開業 56,742 ロンドンオリンピック・パラリンピック開催

# 荒川ころばん

# 体操のあゆみ

<凡例>青字：イベント、緑文字：メディア出演、◆印：体操会場関連

年月	荒川ころばん体操のあゆみ	社会の主な出来事など
H25 (2013)		4月 ◆タヤけじやけ・石浜なれあい館開設、会場として使用開始 7月 ◆生涯学習センターを会場として使用開始 日本（男性）の平均寿命 80・1歳初の80歳超え 53,194
H26 (2014)		52,868
H27 (2015)	8月 11月 [全国] 活環サミット で体操実演 (京浜東北) 都内で唯一介護保険料を減額、ころばん体操がその立役者として、日経新聞に掲載	10月 新潟県中越地震 60,432 6万人突破
H28 (2016)	4月 認知症フォーラム で体操実演 (佐藤区) 事業管轄が、高齢者福祉課から健康推進課に移管	4月 8月 リオシヤネイロオリンピック・パラリンピック開催 熊本地震 61,228 過去最高数
H29 (2017)	健康生活マガジン「けんらち 健康一番」に掲載	60,400
H30 (2018)	10月 リーダー最高齢の田中久雄さんが、内閣府提唱のエイジレスライフ賞受賞	55,926
R元 (2019)	5月 15年リーダー活動を継続している方への「感謝の会」開始、以降毎年開催 9月 ナニワ東京「スーパーニア100歳の体操リーダー」に、リーダー最高齢の田中久雄さん出演	50,504 5月 9月~11月 ラグビーワールドカップが日本で開催 5月 9月 50が令和に改元

年月	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
2月	2月 新型コロナ感染症により、体操が一時休止 4月 コロナ禍におけるリーダーへの情報提供を目的とした「つながる通信」開始（年2回開催） 8月 8月にリーダーのみの体力測定、9月からリーダーのみで体操再開（5会場） 12月 12月から令和3年2月まで体操休止、交流会・感謝の会も休止	1月 区ホームページに「今できる、健康づくり『荒川ころばん体操リーダーからのメッセージ』動画（ケーブルテレビ番組）公開 4月 事前登録制で再開（17会場） 4月 リーダー有志による「ころばん情報局『絆』」活動開始 5月 体操休止 7月 体操再開及び、理学療法士による3会場巡回開始 8月 理学療法士巡回休止 9月 体操休止	4月 事前登録制で再開（18会場） 10月 スリランカ相模国に体操実演（東京都立大学荒川キャンパス） 11月 荒川ころばん体操20周年記念誌」発行
2月	2月 新型コロナウィルス感染症流行 5月 7月~8月 東京オリンピック・パラリンピック開催 高年齢者等に、新型コロナワクチン接種開始 医療従事者等を対象に、新型コロナワクチン接種開始	2月 医療従事者等を対象に、新型コロナワクチン接種開始 5月 7月~8月 東京オリンピック・パラリンピック開催 高年齢者等に、新型コロナワクチン接種開始	4月 ◆東尾久本町通り・ひぐらしふれあい館開設、5月から会場として使用開始